

令和6年度

生命環境学群地球学類 推薦入試

小論文 試験問題

注意事項

- ① 問題Ⅰから問題Ⅲのすべてに解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用すること。それぞれの解答用紙の横長の箱内に「問題Ⅰ」のように問題番号を明記し、小問に分かれている場合は解答用紙に「問1」のように小問番号を記入した上で、小問ごとに解答すること。
- ③ 下書き用紙は試験終了後持ち帰ること。
- ④ 試験時間は120分です。

問題 I 次の英文を読み、問 1 から問 3 に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(Nature Communications, doi: 10.1038/ncomms15460, 2017 より抜粋・改変)

注 unprecedented: 前例のない、eradicate: 根絶する、enact: 制定する、literate: 知識を持った、dissemination: 普及、open access: 研究成果を無料で閲覧できるようにすること、proliferation: 拡散、misinformation: 意図的な誤報、fabricated: 捏造された、manipulate: 操作する、populace: 大衆、derail: 阻害する、YPCCC: 一般の人々の気候変動に関する知識、態度、政策選好、行動に関する科学研究を行うプログラム

- 問 1 下線部(a)について、本文中で述べられている内容をもとに 50 字程度で説明しなさい。
- 問 2 下線部(b)について、二重下線で示した a consensus の内容を具体的に述べながら和訳しなさい。
- 問 3 持続可能な環境への取り組みを阻害する問題とその解決策について、本文の記述に基づき 200 字程度で説明しなさい。

問題Ⅱ 大気汚染による大気中のエアロゾルの増加が地球温暖化の進行を抑制する効果について、以下の語句をすべて用いて 200 字程度で説明しなさい。

雲粒の数、雲粒のサイズ、凝結核、雲の滞留時間、雲の反射率、雲の被覆率、
散乱・吸収、太陽放射

問題Ⅲ 沈み込み帯およびホットスポットにおいて、マントルが溶融してマグマが発生するメカニズムについて、両者の違いを明確にしたうえで、300 字程度で説明しなさい。